（１面）

【 日暮里・舎人ライナー沿線地区 】

屋外広告物　景観形成誘導基準自己診断シート

|  |
| --- |
| 特別景観形成地区である日暮里・舎人ライナー沿線地区では屋外広告物に関する景観形成誘導基準を定めて、良好な景観の形成を推進しています。　本シートに、景観形成誘導基準の各項目について、自己診断（◎：十分に配慮した/　〇：配慮した/　△：配慮できなかった　/－：該当しない　）により記入してください。また、自己診断で△とした場合は、十分に配慮できなかった理由を記載してください。 |
| ◆1-1 屋上広告は、車窓からの眺望を妨げない位置とし、自家用を原則とする。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  | 高架高さより上部（Ａ）への掲示は、車窓からの眺望の妨げになるので極力避け、死角になる位置（Ｂ）への掲示としてください。また、可能な限り壁面（Ｃ）への掲示としてください。 |
| ◆1-2 窓面を利用して広告物を掲示することを極力避ける。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  |
| ◆1-3 同一敷地内に表示する箇所は1箇所程度とし、コンパクトにまとめる。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  | 広告物の数は少なく、コンパクトにしてください。 |
| ◆2-1 点滅する光源やけばけばしい電飾の使用を避ける。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  |
| ◆2-2 建物デザインに応じた必要最小限の大きさとする。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
| 広告物自体の大きさのみでなく、文字の大きさにも配慮してください。また、彩度の高いコーポレートカラーを使用する場合でも、面積は必最小限にとどめる工夫をしてください。（２面に続く） |
|  |
| 〈問い合わせ先〉　都市建設課景観計画係　☎03-3880-5738 | 担当印 | 都市建設課 受付印 | 年　　月　　日　 |

（２面）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ◆2-3 シンプルな形状とする。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  | 広告物の形状は、まち並みと調和のとれた単純な形状としてください。表示内容もシンプルなものとしてください。 |
| ◆2-4　文字や商標の表示を基本とし、写真やイラストは極力さける。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  |
| ◆2-5　壁面広告は、壁面に直接文字で表示する、あるいは地色を壁面と同色に するなど建物デザインと馴染ませる工夫をする。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  | 切り文字を利用し、建物デザインと馴染ませて下さい。 |
| ◆2-6 屋上広告は、架台、支柱、裏面が見えないように工夫する。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
|  | 支柱などが見えないように配慮して下さい。また、屋上広告物は景観上美しくないので、可能な限り、壁面広告として下さい。 |
| ◆2-7 地色は、建築物等の色彩基準に適合する落ち着いた色とする。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
| 足立区景観計画に定める色彩基準Ⅳに適合する落ち着いた色彩としてください。コーポレートカラーの使用などで色彩基準Ⅳに適合しない色彩を使う場合でも、使用する面積を最小限に抑えてください。 |
| ◆2-8 多色使いとしない。 | 自己診断欄（◎/〇/△/－） |  |
| （△の場合は、その理由を書いてください。） |
| 広告物に使用する色は多くても３色程度に抑えてください。 |